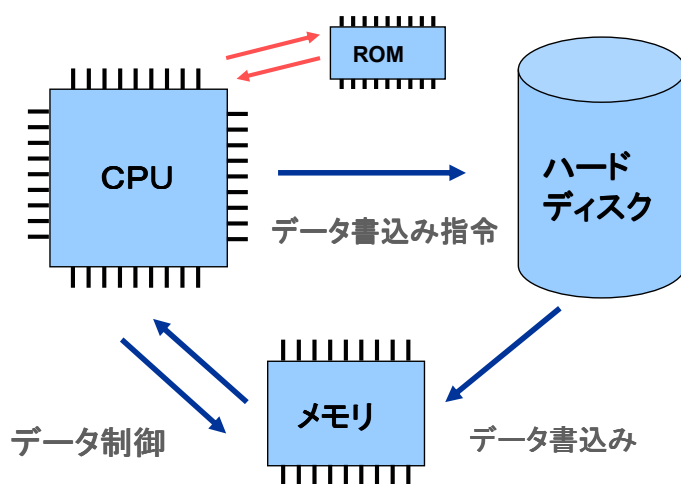




## コンピュータの機能を人間に例えると

- CPUは頭脳。→思考、判断、行動(制御)
- 主記憶装置(メモリ)は脳の記憶部
- 補助記憶装置(ハードディスク、フロッピーディスクなど)はノートやメモ
- 入力装置は、見る・聞く・味わう・嗅ぐ・触れるの5感。
- 出力装置は、顔や体での表現(喜怒哀楽)。他のものへの表現(日記、絵画、他)

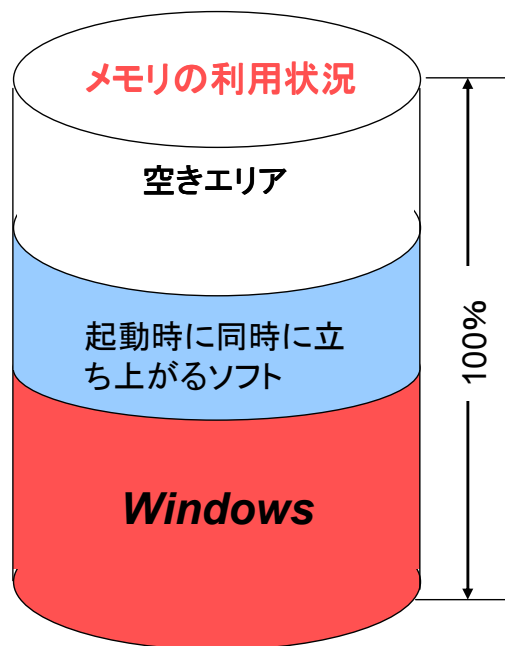
## スイッチを入れてWindows起動まで



- スイッチon
- ROMから基礎情報を読み込み。
- ハードディスクからWindows、基本情報、ソフトを読み込み→メモリに書き込み
- 環境が整った後Windows利用可能に

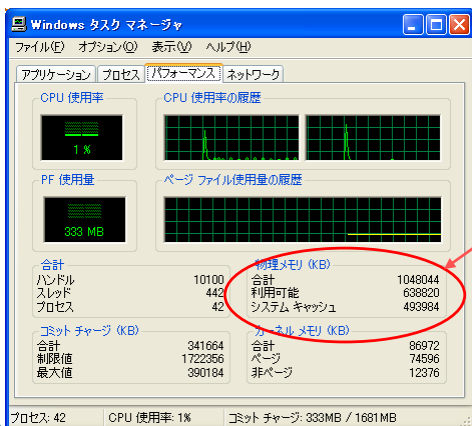
# メモリの利用状況を知る。

- Windowsやソフトがメモリに読み込まれ利用可能になります。
- 空きエリアに利用するソフトの領域が割り当てられます。Excel、MAIL、Wordなど



# 現在のメモリ利用状況を知る。

- Ctrl + ALTを押しながら Delete を押します。
- タスクマネージャーをクリック
- パフォーマンスをクリック

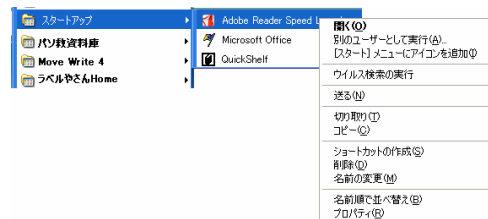


ここに表される数字がメモリの状況を表しています。

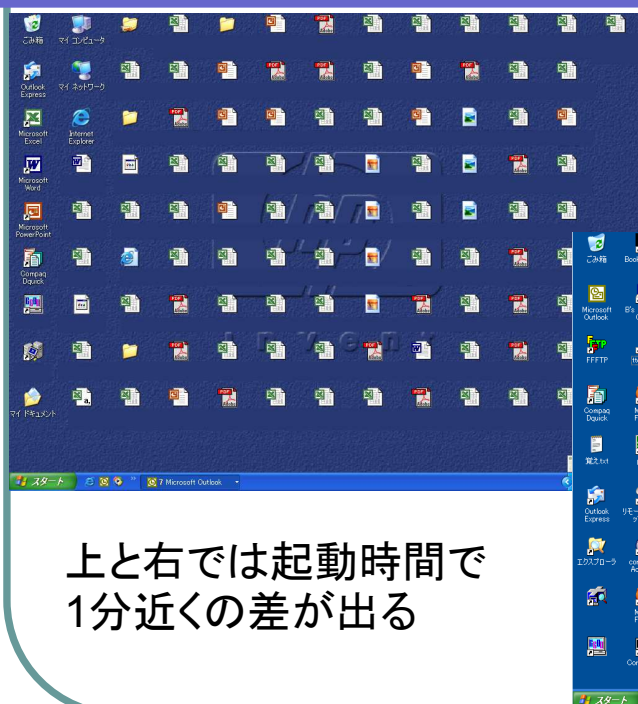
利用可能が多いとパソコンの動きは良い。

# 現在の状況で改善するには

- 起動時に読み込まれるソフトは、スタートアップに登録されています。
- スタート → すべてのプログラム → スタートアップ で確認できます。
- 現在の状況をメモにとりましょう。
- 不要なソフトはアイコン上で右クリック → 削除で削除できます。

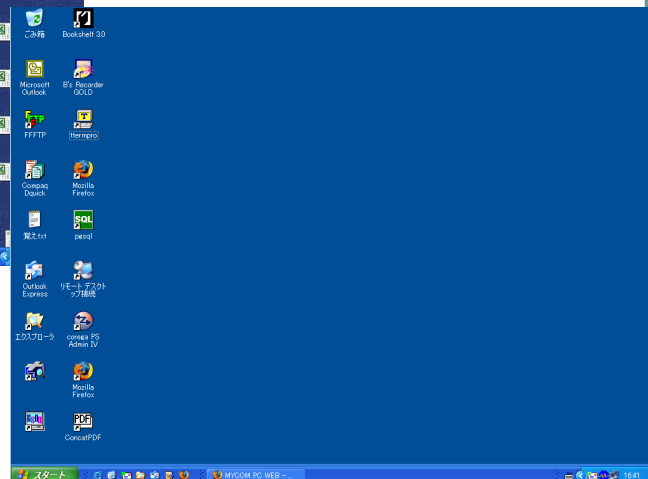


# Windowsの動きを早くする。



デスクトップにアイコンが多いと表示が遅くなる

上と右では起動時間で1分近くの差が出る



## デスクトップにアイコンが多いとなぜ遅くなる

- デスクトップのアイコンを右クリックしプロパティを見してみる。
- リンク先をクリックする、そのソフトが格納されている場所が分かります。
- アイコンの変更を押すと、アイコン図形が格納されている場所が分かります。
- Windowsは起動するたびに格納されている場所やアイコンを確認して表示しています。
- 一つのアイコンで表示に0.5秒かかると10個で5秒、100個で50秒の計算になります。

## アイコン整理はタンス整理と同じ？

- 衣類の整理は冬は冬物、夏は夏物と用途や目的に合わせて分類していませんか？
- 同じ夏物でも、親と子、男物と女物など種別によって整理していませんか？
- アイコン(ソフト、資料、ショートカット)も同じ目的や用途に合わせて整理しましょう
- タンスの中に仕切りがあるように、大きな分類→中くらいの分類、小さな分類と分けましょう

## デスクトップにフォルダーを作成

- 大分類用にデスクトップにフォルダーを作成
- デスクトップの何も無いところで右クリック→新規作成→フォルダー 【名前のご自由に】
- 関係アイコンを、Ctrlを押しながらクリックすると目的のアイコンだけが選択できます。
- そのままフォルダーにドロップします。
- フォルダーの中も整理してね

## 終わり

ご清聴ありがとうございました。